

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	まんさい活性化事業				
所管部局	教育委員会	部局長名	松原 和廣	予算事業名	まんさい活性化事業費
所管部署	生涯学習課	所属長名	渡邊 武	予算事業科目(平成25年度)	011007010296

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け						
施策の大綱	03	育みの環	施策	53	横山隆一記念まんが館を核としたまんが文化の振興	先人が築き上げてきたまんが王国土佐の文化財産を引き継ぎ、地域に根ざし、世界に通用するまんが文化の育成を図るとともに、地元商店街との連携等まんが文化による地域の活性化をめざします。
政策	17	多様な文化を身近に親しむ環境づくり				
施策	53	横山隆一記念まんが館を核としたまんが文化の振興				

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務	施策取組方針
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等			
その他(計画、覚書等)	東西軸エリア活性化プラン		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	東西軸エリア		
意図	どのような状態にしていくのか	まんさいを充実させ、中心商店街にもまんさい来場者が訪れることで東西軸エリア活性化に繋げる		
手段	事業実施体制等	まんさい実行委員会	事業開始年度	平成23年度
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	声優やまんが家を招聘し、イベントを開催することでまんさいを充実・活性化を図る 中心商店街で買い物をしてポイントを貯めるスタンプラリー		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	まんさい総入場者数	まんさいへの参加者	
	B	商店街スタンプラリー参加者	中心商店街への効果を表す	
	C			

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄
成果指標	A	まんさい総入場者数	目標				
		実績	9,998人	7,813人	10,348人		
	B	商店街スタンプラリー参加者	目標				
		実績		103人	212人		
	C		目標				
		実績					
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)		2,000	2,000	2,000	
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	0	2,000	2,000	2,000
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	1,440	1,480	1,480	
		正規職員 (千円)	0	1,440	1,480	1,480	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)		0.20	0.20	0.20	
		正規職員 (人)		0.20	0.20	0.20	
		その他 (人)					
	総コスト= ① + ② (千円)		0	3,440	3,480	3,480	
市民1人当たりコスト (円)		0	10	10		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

「まんさい」は平成25年度で11回目を迎え、全国から参加者が集まる高知市の一大イベントになっている。会場であるかるぼーとだけでなく、中心商店街へも足を運んでもらう取り組みを工夫することによって、街全体として「まんがイベント」を盛り上げる効果がある。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	本事業は、東西軸活性化プランまんが文化プロジェクトチームで検討された事業であり、事業内容に合致している。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	商店街でスタンプラリーを行うことで、「まんさい」が商店街にも認知され、街全体で「まんさい」を盛り上げる効果が出てきている。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	C	3.0	市民によるまんさい実行委員会が実施しており、小学館、角川グループなどとの繋がりが拡がりつつあり、年々イベントの規模が大きくなってきている反面、まんがの原点的なものや子ども向けのイベントが少なくなってきている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	B	3.0	まんさいパスポート料金を2日通しで500円から1日500円に見直した。また、商店街でのスタンプラリーの1スタンプあたりの金額は、スタンプラリーでのイベントの内容を加味して金額設定をしている。(平成23年度は1スタンプ500円で設定し5千円で達成、平成24年度は1スタンプ100円で設定し、2千円で達成)
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B		
総合点	14.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	全国からまんが・アニメのファンが集うイベントであり、今後も東西軸活性化に繋がる効果的な取り組みを継続していく。
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項